



今年は、児童発達支援ご利用のたくさんのおもさんが新しい門出を迎えます。ご利用開始当時と比べ、成長したなあ、と、ほほえましく思います。

新一年生に限らず、4月は一年の中で最も環境が変化する月です。しっかりと子どもさんを見守りたいと思います。

令和六年三月も後半、一年も四分の一が過ぎました。入園・入学したときは小さかった子どもたち。過ぎ去った月日を振り返るとからだの成長だけでなく、ことばや動作の一つひとつに成長を感じることが出来ます。春の日差しを浴びてひと時を、これまでの一年を振り返り、子どもたち一番の思い出を聞いてあげる時間を作られるとまた一層、成長を実感できるのではないのでしょうか。

児童発達支援

前号にも記しましたが、1, 2, 3月はひなたぼっこのお約束「ルールを守る」「先生の話を見て聞く」「椅子にしっかり座る」の三つを、子どもたちと一緒に意識して活動を行っています。ひなたぼっこの療育では、その三つのことをふんだんに盛り込み、保育や遊びの中で日々積み重ねています。節分を題材にした玉入れでは、勝ち負けを意識しつつも、しっかりルールを守り楽しめていました。今年度最後の机上活動ひなまつり製作では、椅子にしっかり座り、説明を見て聞くことが、ほとんどのお子さんに身につけておられました。ペアサーキットでは、相手を意識し協力することもできました。特に、卒園児の皆さんのこのところの成長は目を見張るものがあり、積み重ねてきた小さな一つ一つが園生活でも結びつき生かされているようです。

保護者様、園、ひなたぼっこの連携がお子様方の成長につながっていることをとてもうれしく思うとともに、放課後等デイサービスのご利用へつながるお子様には、継続して支援することで切れ目なく見守らせていただき、さらなる成長を期待したいです。今年度もたくさんのご協力ありがとうございました。

放課後等デイサービス

ひなたぼっこで過ごす時間では、何気ない遊びが学びにつながることがあります。お友達と言葉を交わすこと、本やおもちゃなどを共有することもまたそうです。

普段の生活の中で品物やことばをやり取りしていて、気づかないうちに「自分がしなければいけないこと」を、だれか他の人に「してもらおう」と感じることがあると思います。親しい間では省略されがちなのが「ありがとう」そして「どういたしまして」のことば。それを、自分と相手、お互いを大事にしていくために、とても大切なことばとして伝えあえるよう、声を掛けています。

★4月28日（月）は開所致します。ご利用希望の方はご連絡ください。尚、火曜日ご利用の子どもさんを優先させていただきます。

★子どもさんのご利用時の状況についてお話をさせていただきたいと思っております。来所可能な日をLINEやお電話、連絡帳にてご連絡ください。

★堀川心理士が「ばっぷくどん」というお便りを発行されています。メールやLINEでお届けしますので、ご興味のある方はお声かけください。

